

日教組香川 2015. 9



発行所 日教組香川教職員組合
〒760-0008 高松市中野町15-24
佐藤ビル1F
TEL 087-802-1640 FAX 087-802-1642
URL <http://www.jtu-k.com/>
E-mail jtu-kagw@triton.ocn.ne.jp
発行人 嶋村太伸
毎月10日発行

教え子を再び 戦場に送るな!



制服向上委員会

雨宮処凛さん

9.6ピースフェスin香川



- 2面 安保関連法案を廃案に！！
- 6面 人事院勧告、大先輩からの“怒りの声”
- 3面 日教組定期大会、母と女性教職員の会
- 7面 徳島県教組からの手紙
- 4面 わかる授業・楽しい学校をつくろう
- 8面 お知らせ、カナリア通信
- 5面 ほんとにいいの？育鵬社で！

若者に 武器より強い 夢をもたせよ

教職員のプライドにかけて安保関連法案を廃案に!!

安保関連法案が参議院に送られ審議されていますが、9月16日にも強行採決されると報道されています。(9月10日現在)

この間日教組香川は、安保関連法案に向け、8月29日、高松三越前でチラシ&ティッシュ配布行動を行い、世論に訴えてきました。また、日教組本部や各団体からの要請に応え、集会にも参加してきました。

参加してきた組合員の声をお届けします。

日教組はずっと言ってきたんだ

嶋村 太伸 (高・栗林小分会)

地下鉄の駅から地上に抜けると、国会議事堂が見え、忌野清志郎の歌が聞こえてきた。『善良な市民は…飯代を切詰めたりして Jリーグを見に行くだけさ』まるで俺の歌じゃん! だって前日は万博でガンバ大阪の応援をし、娘の下宿に泊まり、そして今日は国会前!

国会周辺では、連合主催で14,000人が集まり、SEALDsの若者は「古いシュプレヒコールは知らないんだ」とラップ調で「戦争反対! 平和を守れ!」「どうでもいいならアベはやめろ!」とコール。

昼からは日教組の総決起集会。日本教育会館の8階の狭い会議室に500人以上の教職員が集まる。加藤日教組委員長からは「今こそ子どもを守れ!」と檄が飛ぶ。神本美恵子参議院議員は、「大人が憲法を守るように頑張っている姿を子どもたちに伝えていただきたい。」と涙ながらに訴える。応援にきた辻元衆議院議員からは「日教組がずっと言ってきたことを、今、多くの人が賛同してきているでしょ。だから、誇りと自信をもってね!」とエールを送ってくれる。

これからの2週間が勝負。ここで踏ん張らないと、スローガンを「教え子を三度戦場に送るな!」に代えなくてはならない。

神本美恵子参議院議員や連合の高橋副事務局長、また大学時代の解放教育研究会の先輩たちと再会。かつての『同志』、先輩2人ともが、東京教組の単組の委員長をして、ちょっぴり笑ったけど、思いは一つ。『夢かもしれない でも その夢を

見ているのは きみ一人じゃない なかまがいるのさ』清志郎は『イマジン』でこう歌っていた。

全国各地になかまがいる。

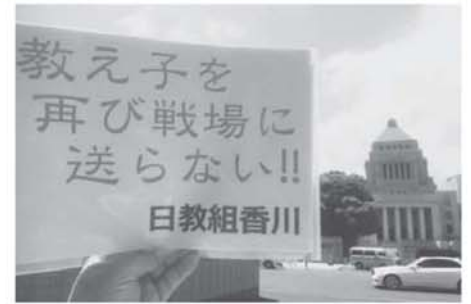
戦いはまだまだ続く。



国会行動に参加して

高木 由紀 (さ・神前小分会)

このところ、国会前がアツい…。テレビなどでその様子を見るたび、お尻がむずむず…。なにもせずにはいられないと思い、行ってきました。「国会前10万人集会」ですが、主催者発表通り「12万人」は堅いです。ここで警視庁発表の3万人のカラクリがわかりました。「人が集まりすぎて、危ないので、こちらは通れませんが」と言われてバリケードで封鎖された国会周辺。その中には確かに3万人しかいなかったかも。でもそのまわりには、その何倍もの人が、身動きもとれない状態で国会を、いや、外務省や国交省など霞が関の町全体を取り囲んでいる!まさにニュースの現場に行ってきました。来ている人は誰も、一人ひとりの意思で来ていることがよくわかりました。小雨しぶく中でしたがアツいアツい国会前でした。



今ここで声を上げる

岡本 武史 (高・浅野小分会)

9月6日の日曜日に「ピースフェスin香川」が高松市の中央公園で開かれた。ここでは、制服向上委員会と雨宮処凜さんのトークセッションを聴いて感じたことを書きたいと思う。

まず、制服向上委員会について。巷では誰かに言われているなどという、つまらない風評も聞こえてくるのだが、実際にトークセッションを聴いてみると、制服向上委員会の2人が雨宮さんの話をしっかりと聞き、自分のことばで考え話したことに、何の違和感もなく、むしろその言葉に感銘を受けた。どこかの政治家のくり返される答弁のように、用意されたものをただ読むだけの、かみ合わない話が続くことはなかった。

そして、雨宮さんの話については、様々な現場の取材から得られた言葉一つ一つには重みがあり、まさにリアルが伝わってくるものであった。中でも、所得は下がっているのに学費上がっていること。その中で奨学金を利用すると、卒業するとき(働き始めるとき)にはすでに、平均300万円の借金を持つ人たちが三十数万人いるということ。そしてこの格差社会が進む中で経済的徴兵制が行われつつあるという現実。我が家も人ごとではない。

やはり今まさにここで声を上げる。この複合的に進められている安倍政権によるあからさまなアメリカの植民地化をなんとか止めなければならぬと痛感した。「アベ政治を許さない」

教え子を再び戦場に送らない!!

日教組103回定期大会

憲法・子どもの権利条約の理念を実現しよう

9月5日、6日両日、東京の日本教育会館で日教組第103回定期大会が開催されました。日教組香川からは嶋村太伸委員長が代議員として参加しました。

大会冒頭、加藤良輔日教組委員長から「世界中の子どもたちが銃ではなくペンをとり、誰もが学べる環境をどうつくっていくのか、そのことに全力を挙げるこそ『積極的平和主義』です。差別や貧困や格差のない社会を生み出す努力こそが真の平和をつくる考え方です。格差や貧困が平和の危機に結びつくことを想起せざるを得ません。私たちは平和運動と格差・貧困をなくすとりくみ

を一体的にとりくんでいく必要があるのです。」と力強くあいさつがありました。

また、来賓の神本恵美子参議院議員(日政連)からは、『若者に武器より強い夢をもたせよ』と呼びかけがありました。

二日間の論議では、「安保法案を廃案へ」「子ども貧困問題、格差の拡大」「経済的徴兵制への危惧」「全国学テの多くの課題」「多忙化解消への取り組み」「30人以下学級の実現」「インクルーシブな社会の実現」「なかまを増やす取り組み」等々が出され、今後2年間の運動方針が決定しました。

そして「安倍政権がすすめる『教育再生』に対峙し、学校現場からの教育改革にとりくみ特別決議」「全ての子どもに明るい未来を！平和で民主的な社会の実現をめざす特別決議」と大会宣言を採択しました。

最後に、加藤良輔日教組委員長の再建組織への激励と団結がんばろうで定期大会を終えました。

「全国になかまがいることを実感できる大会だった。香川でも日教組の旗の下、『わかる授業・楽しい学校・働きやすい職場づくり』にがんばろう！」(嶋村太伸日教組香川委員長)



2015母と女性教職員の会

子どもたちに平和な未来を

8月1、2日の両日、東京都内で、日教組主催の2015「母と女性教職員の会」全国集会が開催されました。今年のテーマは、「子どもたちに平和な未来を一戦後70年 今、行動するときー」でした。日教組香川からは4名の組合員が参加しました。

「アスリート？の母はつらいよ」を發表しました

高木 由紀(さ・神前小分会)

毎年、香川から参加している母女です。今年は発表の年ということで、昨年の運営委員に続き、参加してきました。私が「今年のうちと言ってきたい！」と無理をお願いして発表してきたのが「アスリート？の母はつらいよ」です。組合員の皆さんにお会いするたびに愚痴を聞いていただいていたのですが、アスリートもどきのうちの娘の送迎にはほとんど疲れ切っていた私です。あまりの多忙さにサンディエゴ帰りの嶋村元委員長に無理矢理委員長を代わってもらうほどだった昨年・・・

この経験を、私個人のことでなく、学校の部活動としての問題や、東京

五輪を前に加熱するスポーツエリートなるべく親の過熱ぶりも問題提起してきました。中高生の分科会での発表で母親としての立場での発表ということもあり、身近な問題として共感していただけました。フロアからの反応で、運動部だけでなく、吹奏楽部といった文化部でもコンクール入賞などの目標に向かって、親も顧問も、楽しく活動したいだけの部員も部や学校といった全体のために振り回されている実態が各県にあることがわかりました。

部活の外部委託も検討されているとの情報もありますが、そうなっても親の負担は増えるでしょうね。部活動…どうにかならんのかなと思います。

今、娘は徳島で高校生活を送っています。香川の期待から逃れ、のびのびと競技に取り組んでいるようす。母も送迎から逃れ、のびのびと…?

元気をもらえた母女

嶋村 京子(高・川岡小分会)

1日目の全体会、会場に入った途端。待ち構えていたように神奈川県

教組の人が私に近づいてきて「お久しぶりです。」と声をかけてきた。彼女は、13年前に高松市内の小学校で同じ学年団だった『同僚の先生』だった。当時は講師で採用試験を受けていたが、香川では願いが叶わず、神奈川県で採用されたのだった。

そして、今は何と地区教組の女性部長をしているとのこと。私が2日目の分科会で司会をすると知り、神奈川県の方のお世話をしつつ、私を待っていてくれたのだった。13年振りの再会だった。

香川県では少数派の日教組だが、彼女の地区は100%加入との話に、やっぱりびっくりしてしまった。

2日目の分科会後にゆっくり会い、香川県と神奈川県の学校現場の話で盛り上がった。

今日の「食と健康」分科会でもそうだったが、全国集会に参加することで、他県の様子がわかる。取り入れられることがあれば実践していきたいし、元気をもらえた母女だった。

8. 8県教育研究集会

8月8日(土)、13時から、高松市のルポール讃岐で、「2015年度日教組香川教職員組合教育研究集会」を行いました。

第1部では、香川教育文化総合研究所長の石原清貴さんから、「子どもに学ぶ」と題した講演をしていただきました。

リポート

- ・「不登校 子どもと保護者と関わって」
(丸・垂水小分会 森川宏子)
- ・「全員が『わかる』教具を活用したのしい授業の実践」
(さ・前山小分会 沢地 淳)
- ・「ふりこのきまり」 (さ・志度小分会 松岡弘秋)
- ・「原子力発電の危険性についての授業実践」
(観・観音寺中分会 片山元久)
- ・「人事評価制度についての取り組み～藤田裁判を通して明らかになったこと～」 (三・詫間小分会 須藤角一)

昨年退職されるまでの小学校算数での実践を中心に、自分で作成した「かけ算紙芝居」「10のタイル」などを紹介していただきました。

子どもの思いに添った実践の大切さをあらためて学びました。

第2部では、レポート発表がありました。今回は5本の発表があり、それぞれ四国教研に発表することになりました。



講演は石原清貴さん

わかる授業・楽しい学校をつくろう!

8. 22四プロ教育研究集会

8月22日(土)、9時半から、高知県香南市のいちふれあいセンターで、「四国ブロック教育研究集会(兼四国ブロックカリキュラム編成講座)」が100名以上の参加で行われました。日教組香川からは4名が参加しました。今年度のテーマは、『みんなでやろう いっしょにやろう!—子どもが輝く学校づくり—』。第1部では22本のレポート発表。第2部では特別分科会。

第3部では、島 恒生さん(畿央大学大学院教育研究会教授)から、講演「子どもが動く・学校が変わる—大切にしたい教育の視点—」がありました。



諦めなければすてきな実践が

森川 宏子(丸・垂水小分会)

8月下旬、高知は既に稲刈りの季節でした。十数年前、毎年連合子供会の行事で通っていた、覚えのある道を進み、会場に到着しました。

今回は、不登校の子どもとの記録を基に、子どもや保護者とどう関わったかを発表しました。個人的な内容でしたが、子どもの状態や保護者・特に母親の気持ちに寄り添った取り組みを理解してもらえて、今後の意欲につながった教研でした。

心打たれたのは、つづり方を学級経営の核にしていた、高知の小学校での取り組みでした。

元気が溢れ、日記を書こうとしない児童が、実は溢れる言葉を持っていて、きっかけを得ると、進んで書くことができたこと。学級全員の一枚文集を出すことをめざしていること。全ての子どもにどこかで活躍の場を用意していること。子どもの書いた文章に思わず涙が出ました。

教師が諦めなければこんなすてきな実践が可能なのだ。教師という仕事を見直すことができた教研でもありました。

ほんとにいいの？ 育鵬社で！

県立高松北中、育鵬社(歴史・公民)の教科書を採択

8月の香川県議会で、「教育基本法・学習指導要領の目標を達成するため、最も適した教科書の採択を求める決議案」と「平和安全法制に関する意見書案」が、自民党・公明党・保守系無所属の県議会議員による賛成多数で可決された状況の中で、前回4年前と同様に育鵬社の教科書採択は県立高松北中学校だけでした。他の地区でも育鵬社の採択が危惧されましたが、東京書籍、帝国書院の教科書が採択されました。学校現場の社会科教員の声を聴き、その意見を尊重した結果です。また、県立特別支援学校中等部もすべて育鵬社以外の教科書が採択されました。

しかし、香川県教育委員会は委員6名の内1名が欠席した中で、5対0で育鵬社公民を、3対2で育鵬社歴史を採択しました。4年前の今回は4対2で育鵬社公民が採択され、今回は5対0という結果となり、教育委員の反動化が進んでいるといっても過言ではありません。

香川県では、「香川の子どもと教科書ネット」を中心とした署名活動や申し入れ等の活動がずっと続けられてきました。県立高松北中の採択結果は残念でしたが、引き続き育鵬社の教科書の問題点を指摘しながら、広く県民に訴えていきます。

来年度から使用される香川県中学校社会科(歴史・公民)の教科書一覧

採択地区名	社会科(歴史) 採択社名	社会科(公民) 採択社名
さぬき・東かがわ	帝国書院	帝国書院
小豆	帝国書院	帝国書院
高松・木田・香川	帝国書院	帝国書院
坂出・綾歌	東京書籍	東京書籍
丸亀	東京書籍	東京書籍
善通寺	帝国書院	帝国書院
仲多度	帝国書院	東京書籍
観音寺・三豊	東京書籍	東京書籍
県立高松北中学校	育鵬社	育鵬社
県立盲学校中等部	教育出版	教育出版
県立聾学校中等部	東京書籍	東京書籍
県立高松養護学校中等部	東京書籍	東京書籍
県立善通寺養護学校中等部	帝国書院	帝国書院

なお、毎日新聞によると、来年度から4年間、全国の中学校で使用される教科書採択の結果、「新しい歴史教科書をつくる会」の元幹部が執筆に加わる育鵬社の「歴史」と「公民」の教科書の採択率(生徒数をベースにした割合)が4年前の4%台から6%台に上る見通しと報じています。4年前の2011年、育鵬社の教科書の採択率は、歴史は3.8%、公民は4.1%でした。

今回、育鵬社の教科書の採択率が伸びたのは、人口が密集している大都市の横浜市と大阪市が採択を決めたためと見られます。横浜市は4年前に続き今回も育鵬社の教科書を採択し、大阪市は今回初めて同社の教科書を採択しました。しかし、4年前に育鵬社の教科書を採択した東京大田区や愛媛県今治市など四地区が、今回は他の教科書を採択したことで、伸び幅に歯止めがかかりました。育鵬社の前身である扶桑社の教科書の採択率は、2005年に0.4%、2009年1.7%でした。

2015人事院勧告

2年連続 月例給 一時金 ともに プラス勧告

地域手当は本年4月にさかのぼり改定

給与勧告の骨子

○本年の給与勧告のポイント

月例給、ボーナスともに2年連続の引上げ

- ① 民間給与との較差(0.36%)を埋めるため、俸給表の水準を上げるとともに、給与制度の総合的見直しにおける地域手当の支給割合を引き上げ
- ② ボーナスを引上げ(0.10月分/4.10月分→4.20月分)、民間の支給状況等をふまえて勤勉手当に配分

給与制度の総合的見直し

2016年度において実施する措置

- ① 地域手当の支給割合の引上げ
- ② 単身赴任手当の支給額の引上げ

8月6日人事院は、政府と国会に対して、月例給1,469円(0.36%)、一時金0.10月(4.10月→4.20月)引き上げる勧告・報告とフレックスタイム制を拡充する勧告を行いました。

月例給は、行政職(一)1級の初任給を2,500円引き上げ、若年層についても同程度改定し、その他は、50歳台後半層を含めすべての号俸において、それぞれ1,100円引き上げを基本とする改定となりました。なお、再任用職員も月例給・一時金とも引き上げとなりました。

一時金については、支給月数の引き上げ分を昨年に引き続き勤勉手当のみに配分し、今年度は6月支給は済んでいるため、12月期に0.10月分、来年度以降は0.05月分ずつ6月期と12月期に充てるとしています。

フレックスタイム制の拡充は、職員の働き方の幅を広げるものであり、ワークライフバランス確保のためにも、具体化される必要があります。

今回の勧告に対し、公務員連絡会は6月18日の要求書提出以来、「給与制度の総合的見直しで影響を受ける職員に留意すべき」との要請を続け、全国から3000人が結集した7.28中央行動の際にも人事院と粘り強い交渉を行いました。2年連続のプラス勧告は、全国の公務員労組の取り組みの成果です。

大先輩から“怒りの声”が届いています。

60年安保闘争で岸内閣を打倒 さらに安倍内閣打倒へ!!

香川県退職教職員協議会

会長 大林 浅吉

60年安保闘争の時、私は日教組本部中央執行委員の一人として、集会やデモに参加していました。当時は各県教組から日教組本部に出ている、1958年から1960年まで、勤評闘争・教育課程闘争・安保闘争と日教組50万の組合員が最も激しく闘った時でした。

1951年9月8日、講和条約と同時に日米安保条約が締結され、10年後に改定されることになっていた1960年、岸総理がアメリカへ行って改定して帰り、国会で承認するかどうかで混乱していたのです。1960年5月ごろから連日のように国会請願デモが行われていました。はじめは「安保反対」「岸はやめ

ろ」のシュプレヒコールでした。「岸はやめろ」と言ったってやめないのだから、私は「岸を倒せー」と叫びました。そのうち周りの人たちも「岸を倒せー」と叫びようになり、さらにその叫びは広がっていきました。次の日のデモに参加すると、もうみんな「岸を倒せー」になっていました。

私は6月4日の統一ストライキに参加した後、任期満了で香川に帰ってきましたが、安保反対のデモはさらに盛り上がり、岸総理は6月22日の閣議で辞意を表明し、7月15日岸内閣総辞職となりました。

岸信介の孫、安倍晋三もアメリカで「集団自衛権行使のための法律をこの夏までに成立させる。」と国会を無視する演説をしてきたとのことですが、こんな安倍内閣は日本にはいません。

子どもたちを再び戦場に送らないために、安倍内閣打倒!!「安倍を倒せー」

※現在93歳の大林浅吉県退教会長の組合運動を中心とした戦中戦後史を連載していく予定です。

ご期待ください!

徳島県教組から日教組香川への手紙「徳島県教組襲撃事件①」 人種差別目的は許されない！

8・22 徳島県教組襲撃事件裁判支援集会（香川県総合福祉センター）及び8・31 徳島県教組襲撃事件第1回控訴審（高松高裁）に日教組香川からも、参加していただきありがとうございます。

さて、徳島県教組は日教組香川と同じように、6年前、日教組からの要請に基づき、子ども救援カンパを行いました。子ども救援カンパとは、あしなが育英会と「雇用と就労・自立支援カンパ（通称：連合トブタカンパ）」のとりくみです。徳島県教組は、日教組を通じて「雇用と就労・自立支援カンパ審査委員会」へ、四国朝鮮初中級学校と徳島児童ホームへの助成を申請しました。

事件は、2010年4月14日におこりました。在日特権を許さない市民の会（通称：在特会）らの19人が県教組書記局に乱入し、四国朝鮮学校に連合トブタカンパから支出したことは「日教組の募金詐欺」であると、当時の専従書記長に対して、被告らは「朝鮮の犬」「売国奴」「国賊」などと怒号し、暴行も行いました。前年12月からの京都朝鮮学校襲撃に続く、朝鮮学校への差別意識が背景のヘイトクライムでした。映像がインターネットにも流れ、二次被害が拡大しました。また、刑事告訴した後も、被告らは県庁前で「腹を切れ」「自宅街宣せなあかん」「県教組に抗議電話ファックスを」などと威嚇行為を行いました。3度にわたる刑事裁判では、建造物侵入及び威力業務妨害で19人のうち、8人が有罪となりましたが、名誉毀損とはなりませんでした。

民事裁判では、名誉毀損も含む損害賠償請求をしています。今年3月27日の徳島地裁判決では、約231万円の損害賠償が認められましたが、「人種差別的な思想に由来しているかどうかはともかくとして」と判決文に記載されています。被告らは、日ごろから差別



日教組定期大会で発言する小原徳島県教組委員長

している朝鮮学校を支援したことが許せなかったから攻撃したのであり、「在日朝鮮人や朝鮮学校に関われば、こんなひどい目にあう」ことを知らせ、支援を委縮させる効果をもたらせています。在特会らの襲撃は単なる不法行為ではなく、人種差別目的であり、攻撃対象が日本人であろうと人種差別撤廃条約第1条に違反する差別攻撃として、損害賠償請求はもっと増額すべきです。

また、事件の2週間後に行われた県庁前街宣は、正当なる政治的主張だとする第1審判決は不当です。消滅時効についても、きちんと反論していきます。

第2回の控訴審は高松高裁で、11月18日（水）午後1時30分からはじまります。

8月31日の第1回公判では、日教組香川、日教組愛媛、日教組高知、岡山県教組をはじめ、徳島、香川、静岡、京都、大阪、兵庫などからも支援者が集まってくれました。

特に、香川平和労組会議にも要請し、連合香川などから多数来ていただきました。本当にありがとうございました。そして、116人の支援者で74席の傍聴席を埋め尽くすことができました。

今回は、元組役員証人の証人尋問と県庁前街宣等の映像放映もありますので、日教組香川からの裁判傍聴行動支援をよろしく願います。裁判は次回も抽選が予想されますので、12時30分（詳細は未定）までにお越しいただければ幸いです。こちら側で傍聴席を満席にしたいのです。そうすることが、裁判官への強烈なプレッシャーにもなります。

今後とも、よろしく願います。ともに、がんばりましょう。



控訴審裁判支援県会より

第11回香川レインボー映画祭

LGBTなど性的少数者をテーマにした映画祭

- ・日時：2015年10月18日(日)13:00～19:00
- ・場所：情報通信交流館eとびあ・かがわ
- ・チケット：1プログラム1,300円
高校生以下無料。
障害者本人は無料。
介護者1人につき800円(2人まで)。

・プログラム

- 13:00～ 「追憶と、踊りながら」
- 15:00～ 短編集「ある家族の肖像」
「娘さんを僕にください」
「leave us alone」
- 17:00～ 「ソウルフラワートレイン」

主催：香川レインボー映画祭実行委員会 (PROUD)

四国ブロック「母と女性教職員の会」in香川

丸亀本島にて “島の文化を訪ねて”
～食べて・歩いて・自転車乗って～

2015年10月10日(土)

- 10:30 丸亀港集合
- 10:40 フェリー丸亀港発
- 11:15 フェリー本島港着
- 11:50～12:50 昼食(古民家での魚料理)
- 13:00～15:30 島の文化のお話
&フィールドワーク
- 15:30～17:00 島内散策
- 17:10 フェリー本島港発
- 17:40 フェリー丸亀港着 解散

企画・運営：日教組香川教職員組合女性部

あんしん むすぶ

教職員共済の

火災共済

住宅災害等給付金付火災共済

自然災害共済



さまざまな災害から、大切な住まいと家財を守る！

自然災害共済は単独ではご契約いただけません。火災共済と同口数でのセット契約となります。

自然災害共済の掛金の一部は地震保険料控除の対象となります

1口あたりの
月払掛金

火災共済(月払い)
火災等共済金=最高10万円/1口

木造
6円

耐火
3円

自然災害共済(月払い)
地震等共済金=最高大型3万円・標準2万円/1口
風水雪等共済金=最高大型・標準とも5万円/1口

木造
12.5円

耐火
8円

木造
9円

耐火
5.5円

※加入例:建坪40坪 居住人数5人 世帯主年齢50歳の場合

建物2400万円+家財2000万円 合計4400万円の補償の場合→火災共済のみの場合 掛金2,640円/月

自然災害共済をプラス掛金8,140円/月

詳しくは資料をご請求下さい。 TEL(0120-27-8140) 教職員共済生活協同組合東四国事業所

カナリア通信 「子どもの社会性」

子どもは成長するうちに社会性を身に付けて、義務教育が終わるころには自然に社会人になる力を持っていると数十年前には考えられていました。でも、気が付けば多くの大人が引きこもっていました。◆以前は、地域の行事や大勢の家族の中で知らず知らずに、我慢もしたけど居場所があり、集団の中で生きる術を獲得していました。いつの頃からか、意識して集団を作って、役割を遂行したり協力して活動したりする場を用意し、教育しなければならなくなりました。◆「多様化する社会」は、「学校」からは想像できないほどに様々で、子どもの背景は一人ひとり大きく異なっていました。生きていくために必要な力や、優先するルールまでが違っていました。多様な子どもを一齐に同じ空間で指導することなど不可能ではないのかと諦めそうになりました。◆今、わたしの教室には一人ひとり大きく異なる子どもがいます。学年も得意・不得意も、性別も、あらゆるものが違います。でも、この小さな社会で、学習のルールや生活のルール、仲良く過ごすために気を付けることなどを、どんな身に着けています。わたしがしていたのは、「安全な居場所」として教室を提供することでした。◆二学期には、また様々な行事があります。子どもたちの社会性が、経験を通して少し育っていきばいいなと思います。